新型コロナウイルス対応緊急支援助成 事業計画

申請事業名(主)		中国5県新型コロナ対応	緊急	支援助成						
申請事業名 (副) ※任意		活動・団体支援でコロ	ナ禍な	を乗り越える						
						入力数	È	17 字	副	18 字
申請資金分配団体名 中国5県休眠預金等活用コンソーシアム(代表団体:NPO法人ひろしまNPOセンター)										
休眠預金事業への	扒択	9年度資金分配団体に採		2019年度実行団体に採択	V	2020年度 資 (通常枠)				なし
採択/申請歴		朗コロナウイルス対応 助成に複数事業で申請								

優先的に解決すべき社会の諸課題

	領域	分野			
	1) 子ども及び若者の支援に係る活動	./	1)-①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子供の支援		
✓		./	1)-②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援		
		7	1)-③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援		
V	2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援 に係る活動	./	2)-④働くことが困難な人への支援		
		7	2)-⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援		
~	3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況 に直面している地域の支援に係る活動	V	3)-⑥地域の働く場づくりの支援		
<u> </u>		7	3)-⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援		

その他の解決すべき社会の課題						
					入力数	0 字
			直接介入/最終受益者等		※詳細は	別紙をご
		2- Mey 2 20 H	①就労施設等/就労施設で働く障がい者等		参照くだ	± 1.
	人团	/ 古类《古拉人	②国際協力、交流NPO・NGO等/外国人労働者、日系人労働者等	-to-444		

ı								直接介入/最終受益者等 ①就労施設等/就労施設で働く障がい者等		※詳細は別紙をご 参照ください。
ı					事業	全国 🗆	•	②国際協力、交流NPO・NGO等/外国人労働者、日系人労働者等 ③高齢者福祉NPO等/孤立や健康不安を抱える高齢者等		参照ください。 ①300名程度
1	実施時期	2020年8月	~	2021年8月			人する対象者	I(4)子ども・若者・家庭支援NPO等/子どもやシングルマサー等の孤立防止、	対象者人	②250名程度
ı					対象地域	特定地域 (中国地方)	と、その他最終	貧困家庭支援、子ども食堂等支援、DV・児童虐待防止や対応、学びや体験機会提供、大学生のくらし支援、生き辛さを抱えた若者(引きこもり等)の	~~	③1500名程度
ı								居場所づくりや就労支援 等		④250名程度⑤150名程度
L								⑤地縁系NPO等/困難な状況にある地域コミュニティの住民等		⑤150-日生及

I .団体の社会的役割

(1)申請団体の目的

上記以外

当コンソは、ボランティア活動をはじめとする市民が行う自由な社会貢献活動を支援するとともに、多様な主体による協働・連携を推進し、様々な社会課題の解決を図り、持続可能で豊かな市民社会を実現することを目的とする。

本事業においては、中国地方全域に休眠預金を届けることと地域の実情に合わせた事業設計を行うことを基本方針として、コロナ禍の中で困難な状況にある人や団体とそれらを支えるNPO等の支援を行う。

(2)申請団体の概要・事業内容等

【構成団体】とっとり県民活動活性化センター、ふるさと島根定住財団、岡山NPOセンター、ひろしまNPOセンター、やまぐち県民ネット21

【概要・事業内容等】県域の中間支援である構成団体がコンソを組むことで、信頼(10年以上の連携)、共有(人材やノウハウ、ネットワークの共有)、共感(成果の面的な発信)、持続(休眠預金に関わらず支援を継続)という価値を最大限生かし、休眠預金の資金分配団体を担っている。

Ⅱ.事業の背景・社会課題

新型コロナウイルス感染症により深刻化した社会課題

※詳細は別紙をご参照ください。

①障がい者等就労支援

就労施設の売り上げが減少しており、今後の見通しもついていない。また、新しい生活様式にそった販売 イベント等の手法がわからない。結果、障がい者の収入減、居場所や活動機会の損失が起こっている。 ②外国人労働者支援

外国人労働者の中には、雇止めや給料の減額、それに伴う地域からの孤立などの状況に置かれている人がいる。状況が長期化することで、貧困、孤立、子どもの教育格差などがさらに進み、失踪といった危険性も高まっている。

③高齢者の生活支援

高齢者の中には、常日ごろ行われていた見守りやサロン等の機会を失い、孤立や健康状態が悪化している人がいる。人との交流機会の減少が生きがいややりがいも同時に奪っており、要介護度が深まるなど深刻な状況にある。一方で、支援する団体についても要介護者の増加などによって現場が多忙ととなっており、ニーズに対応することが困難な状況にある。

④子ども・若者・家庭支援

仕事を失うなどの困難な状況に陥った家庭(ひとり親家庭等)や、安定して食事をとる機会が限られた子ども、児童虐待やDV等の危機的な状況にある子どもとその家族が増加している。また、オンライン授業環境の有無や地域状況によって生じた教育格差(学びや体験機会の不平等性)の拡大、経済的理由から進学が困難になる大学生が増えているなど問題が深刻化しつつある。

⑤地域コミュニティ支援

コロナ禍の中、常日ごろ行われてきた地域コミュニティの活動(共助の助け合い、祭り等のイベント、草 刈りや清掃活動 等)が停止するなど、地域コミュニティ(地域の絆)が喪失の危機にある。新たに活動 を再開したくても、従来の方法をとることができず、活動の停滞から抜け出せないでいる。

入力数 (1) 197 字 (2) 199 字

入力数 739 字

Ⅲ.申請事業

(1)申請事業の概要

事前調査から設定した5つのテーマから、各県が状況に応じて実施するテーマを1〜3程度選択し、県単位で公募を行う。このことにより広域性(中国5県をカバー)と地域性(地域ニーズへの対応) を兼ねた緊急支援を実現する。各県で設定したテーマに取り組む実行団体の活動に対して助成を行い、困難な状況にある人を支援する『活動支援』と、アウトカム達成に向けたボトルネックを明ら かにする組織診断を通じた実行団体の組織基盤強化を行う『団体支援』を同時に行う。『活動支援』と『団体支援』の両輪で取り組むことにより、第2波、第3波のコロナ禍を乗り越え、アフターコ ロナにも対応できる民間公益活動の担い手の誕生を目指す。

入力数 294 字

(2)活動(資金支援)(実行団体の活動想定)	時期
①就労施設等/障がい者の孤立防止、就労施設の仕事増加、就労施設の新たなビジネスモデル構築 等	① 2020年8月~2021年8月
②国際協力、交流NPO・NGO等/外国人の孤立防止、外国人の就労に向けた職業訓練、外国人の就労支援 等	② 2020年8月~2021年8月
③高齢者福祉NPO等/地域福祉の充実、高齢者の孤立防止、高齢者の健康づくり等を行う団体の経営改善、事業改善、感染症対策の徹底に向けた備品の整備、職員研修 等	③ 2020年8月~2021年8月
④子ども・若者・家庭支援NPO等/子どもやシングルマザー等の孤立防止、貧困家庭支援、子ども食堂等支援、DV・児童虐待防止や対応、学びや体験機会提供、大学生のくらし支援 生き辛さを抱えた若者(引きこもり等)の居場所づくりや就労支援 等	④ 2020年8月~2021年8月
⑤地縁系NPO等/地域住民の孤立防止、地域の見守り活動、地域行事の実施 等	⑤ 2020年8月~2021年8月

(3)活動(資金分配団体による伴走支援)	時期
①事前評価、事後評価の実施についての支援	① 2020年8月、2021年8月
②月1回の実施状況の確認と事業実施に関する助言等	② 2020年8月~2021年8月
③事業の実施状況・取り組み事例の共有に資する情報公開等	
④実行団体の組織診断(団体の組織基盤や事業の状況を分析し、事業実施のボトルネックを明らかにする)	③ 2020年8月~2021年8月
	④ 2020年8月~2020年12月

(4)今回の事業実行を通じた目標	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態	目標達成時期
※詳細は別紙をご参照ください。	①困難な状況にある人への活動支援(提案	①事後評価による把握	①活動支援(提案事業)の評価指標の達成	①2021年8月(計画の
【当コンソとしての目標】	事業)を計画通りに実施できたか。	②実行団体へのヒアリング	率。それらがすべて達成できている。	最終月)
コロナ禍において困難な状況にある人を支援するとともに、	②本事業終了時以降の活動についての見通		②新ビジョンや中長期計画等を作成するこ	②2021年8月(計画の
第2波、第3波のコロナ禍を乗り越え、アフターコロナにも対	しを持つことができたか。		とができている。または、作成に向けた計	最終月)
応できる民間公益活動の担い手の誕生を目指す。			画ができている。	

(5)事業実施後(1年後)以降に目標とする状態

【困難な状況にある人】コロナ禍以前と同じ水準まで状況が改善していることを前提に、コロナ禍以前から抱える問題の解決に道筋が見えている。

【実行団体】第2波、第3波のコロナ禍を乗り越え、アフターコロナの社会に対応した新たなビジョンや活動モデルを確立し、自立可能な民間公益活動の担い手となって社会問題の解決に向けた取り 組みを実施している。

入力数 166 字

IV.実行団体の募集

(1)採択予定実行団体数	全体で20~30団体程度(各県4~6団体程度)	(2)1実行団体当たり助成金額	100~500万円程度					
(3)申請数確保に向けた工夫	構成団体の通常業務の中で、コロナ禍における地域のニーズ調査や全国の中間支援組織が参加するCIS(新型コロナウイルスNPO支援組織社会連帯)等への参加を通じて、様々な問題・課題、ニーズを収集しています。その情報を基に、テーマを設定するなど案件形成を進めているため、助成事業が実施されるのであれば申請したいという団体がすでに一定数存在します。また構成団体がそれぞれ持つHP、SNS、メーリスなどを最大限活用します。							
(4)予定する審査方法	①審査スケジュール:2020年8月下旬ごろ							
(審査スケジュール、審査	②審査構成:原則外部有識者とし、4名程度を想定。スピード感を重視するため、審査委員確保や日程調整が難しい場合は、利益相反に十分に留意した上で、過半数を超							
構成、留意点等)	えない範囲で当コンソ構成団体役員・職員から専門的知見を持った人材を審査委員として参加させる。							

V.事業実施体制

(1)メンバー様式レタメンバーの役割	代表団体:ひろしまNPOセンター…広島エリアの案件形成・伴走支援、全体事務
(1)メンバー構成と各メンバーの役割	構成団体:担当エリアの案件形成・伴走支援
(2) 小田仕上の注機仕間	CIS(新型コロナウイルスNPO支援組織社会連帯)、全国コミュニティ財団協会
(2)他団体との連携体制	行政、社会福祉協議会 等
(2)相宗されてリッカト笠理仕制	事業実施のリスクおよび感染症等のリスクについては、リスク管理規程に沿って、防止及び損失の最小化を図るものとします。また、感染症対策については各自治体の方針を遵守します。
(3)想定されるリスクと管理体制	想定されるリスク:実行団体の応募や実行団体への資金分配額が想定と異なる、実行団体に対する助成金の活用と事業の適正判断、実行団体とのトラブル 等

VI.関連する主な実績

②その他、助成金等の分配の実績

①コンソ実績:2019年度休眠預金事業 資金分配団体

②構成団体実績:鳥取:企業連携寄付配分事業(中国労働金庫、山陰合同銀行、あいおいニッセイ同和損保等)等、島根:地域づくり活動助成事業 等、岡山:みんなでつくる財団おかやま連携 等、広島:平成30年7月豪雨災害ひろしま復興支援基金 等、山口:企業連携寄付配分事業(中国労働金庫等)等

(2)申請事業に関連する調査研究、連携、マッチング、伴走支援の実績、事業事例等の実績

①コンソ実績:2019年度休眠預金事業 資金分配団体

②構成団体実績:鳥取:NPO法人経営実態調査 等、島根:社会貢献活動促進事業 等、岡山:岡山県ボランティア・NPO活動支援センター運営 等、広島:地域の課題解決に向けたSDGs人材研 修業務 等、山口:やまぐち県民活動支援センター管理運営事業 等